

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌ビューティーアート専門学校

学科名：ヘアメイク科

授業科目名	単位数
美容技術理論 I	3
美容実習 I -A	3
合計	6

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科/ヘアメイク科	3	90
使用教材	美容技術理論Ⅰ	出版社	社)日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鶴本 純子	実務経験	○		
実務内容	美容師として【6年】勤務。当校で国家試験実技課題の授業を【20年以上】担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション ＜序章 美容技術理論を学ぶにあたって＞	※ 美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 ・美容理論について・美容技術者としての心構え・安定した姿勢、作業点と姿勢 ・作業点と姿勢 ・力の配分と姿勢 ・人体各部の名称 ・美容における頭部の区分
2	＜第1章 美容用具＞ 1. 美容技術における用具 2. コーム 3. ブラシ 4. シザース	・美容の道具、器具、機械、取り扱い方 ・コームの種類と各部の名称、選定法、手入れ法・ブラシの種類、選定法と手入れ法 ・シザースの種類、各部の名称、選定法と手入れ法
3	＜第1章 美容用具＞ 5. レザー 6. ピン類、ヘアクリップ 7. ロッド 8. ローラー	・いろいろな太さのローラー ・ホットカーラー(ローラー) ・レザーの種類と各部の名称、刃線の形態と力のかかり方、選定法と手入れ法 ・ヘアピンのいろいろ・ロッドの種類
4	＜第1章 美容用具＞ 9. ヘアアイロン 10. ヘアドライヤー 11. ヘアスチーマー 12. 遠赤外線機	・ヘアアイロンの種類、各部の名称、選定法と手入れ法 ・ヘアドライヤーの種類と構造 ・タービネードタイプドライヤーの構造 ・ヘアスチーマーの選定法・遠赤外線機の役割
5	＜第2章 シャンプーイング＞ 1. シャンプーイング総論 2. サイドシャンプー 3. バックシャンプー	・シャンプーイングの目的、施術の内容による目的の違い、メカニズム ・シャンプー剤の成分、種類・シャンプーイングの際の注意・シャンプー技術のプロセス ・ブラッシング・ファースト、セカンドシャンプー・バックシャンプーの手順、指の動き
6	＜第2章 シャンプーイング＞ 4. リンス、コンディショナー・トリートメント	・リンス、コンディショナー、トリートメントの役割、違い、成分 ・リンスの目的、種類、技術・コンディショナーの目的 ・ヘアトリートメントの目的、種類技術の一例
7	＜第2章 シャンプーイング＞ 5. スカルプトリートメント 6. ヘッドスパ	・スカルプトリートメントの目的、要素、種類・頭皮のトラブルのいろいろ ・育毛剤の成分とはたらき・ノーマルスカルプトリートメント技術の一例 ・スカルプマッサージ技術の目的と手順 ・ヘッドスパのプロセス、リラクゼーションマッサージ

8	前期まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：序章～第2章】
9	<第5章 パーマネントウェービング> 1. パーマネントウェーブの歴史と現在 2. パーマネントウェーブの理論 3. パーマ剤の分類	・パーマネントウェーブをはじめとする美容関係の歴史・毛髪の構造について ・ウェーブが形成される仕組み・パーマ剤の分類、種類
10	<第5章 パーマネントウェービング> 4. パーマ剤に関する注意事項 5. パーマネントウェーブ技術	・使用前、操作中に関する注意事項 ～ 毛髪診断
11	<第5章 パーマネントウェービング> 5. パーマネントウェーブ技術 6. 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)	・パーマネントウェーブ技術 シャンプー ～ 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)
12	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・錯覚現象を美容に生かそう・デザインの要素
13	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・デザインの原理
14	前期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第5章・第3章】
15	総合授業	総まとめを行う
16	<第4章 ヘアカットイング> 1. ヘアカットイングとは 2. シザーズとレザーの扱い方 3. 美容刃物 4. ヘアカットイングの正しい姿勢	・シザーズ、レザーの持ち方等・刃物の材質、材料、正しい姿勢の基本
17	<第4章 ヘアカットイング> 5. ブロッキング 6. ヘアカットイングの基礎理論 7. ベーシックなカット技法	・頭部の基礎分割線・基準となる頭部のポイント、スライスの種類・パネルと頭皮の角度・毛先が集まる位置とカットラインの関係・パネルの幅や長さやカットラインの関係・パネルの角度とシルエットの関係・ラインの設定法 ・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイルレングスカット
18	<第4章 ヘアカットイング> 8. シザーズによるカット技法 9. レザーによるカット技法	・シザーズによるカット技法、ストロークの分類 ・レザーによるカット技法のいろいろ、テーパークットの分類
19	後期中間まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章】
20	<第6章 ヘアセットイング> 1. ヘアセットイングとは 2. ヘアパーティング 3. ヘアシューピング	・オリジナルセットの基本的な要 ～ ストランドシェーブ、フィンガーウェーブ時の持ち方
21	<第6章 ヘアセットイング> 4. ヘアカーリング	・オリジナルセットの基本的な要 ～ ストランドシェーブ、フィンガーウェーブ時の持ち方 ・カール各部の名称、分類 ～ クロックノールカール技術の一例
22	<第6章 ヘアセットイング> 5. ヘアウェーブ 6. ローラーカーリング	・ヘアウェーブの名称、分類 ～ ローラーウェーブ ・ベースの幅と厚さ
23	<第6章 ヘアセットイング> 7. ブロードライ 8. アイロンセットイング	・ハンドドライヤーとブラシの基本操作 ・アイロンの持ち方
24	9. バックコーミング 10. アップスタイル 11. ウィッグとヘアピース	・バックコーミング・アップスタイル ・ウィッグ、ヘアピース手入れ法
25	<第7章 ヘアカラーリング> 1. ヘアカラーリング概要 2. ヘアカラーの種類 3. ヘアカラーのタイプ別特徴 4. 染毛のメカニズム	・ヘアカラーリングの歴史、種類 ～ タイプ別染毛メカニズム
26	<第7章 ヘアカラーリング> 4. 染毛のメカニズム 5. 色の基本 6. 毛髪のレベルとアンダートーン	・ヘアカラーの色選び～アンダートーン
27	<第7章 ヘアカラーリング> 7. パッチテスト 8. 染毛剤使用時の注意 9. ヘアカラーリングの道具 10. 酸化染毛剤の技術手順 11. 酸性染毛剤の技術手順	・染毛剤と皮膚炎・ヘアカラーリング専用の施術道具 ・パッチテスト・酸性染毛剤の技術手順
28	後期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章・第6章、第7章】
29	まとめ・解説	まとめ・解説を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I - A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科		90
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論 I・美容実習 I - E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渋谷久美子他	実務経験	○		
実務内容	美容室にて美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)、机上セッティング、ウイッグの取り扱い、コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、姿勢、体の使い方、構成習得、国家試験衛生
2	ワインディング	コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得、復習強化、姿勢、体の使い方、ブロッキング計測15分
3	ワインディング	ブロッキング構成習得、復習、強化、ブロッキング計測15分～13分、センター導入 上巻き導入、姿勢・体の使い方・目線・立ち位置
4	ワインディング	ブロッキング構成、計測13分～10分、センター導入、上巻き復習・下巻き導入
5	ワインディング	ブロッキング構成、計測10分、上巻き、下巻き、センター巻き、復習、強化
6	ワインディング まとめ	ブロッキングまとめを実施する 計測10分、コームで取るブロッキング(12ブロック)導入 計測15～13分、センター強化、(センター15分)計測1本60秒、フロント導入、構成

7	ワインディング	ブロック(コーム、12ブロック)計測10分、センター強化、(センター15分)計測1本60秒 フロント復習、強化、右バックサイド～ネープ導入
8	ワインディング	ブロック(コーム、12ブロック)計測10～8分、センター強化、(計測センター12分～13分)計測1本約50秒、フロント、右バックサイド復習、強化、右サイド導入
9	ワインディング	ブロック(コーム、9ブロック)計測8～6分、(センター計測11分～12分)計測1本約45秒、フロント、両バックサイド～ネープ復習、強化、サイド復習
10	ワインディング	ブロック(コーム、9ブロック)計測6～5分、(センター計測10分～11分)計測1本約40秒、フロント、両バックサイド～ネープ強化、サイド復習
11	ワインディング	ブロック(コーム、9ブロック)計測5～4分、(センター計測10分～11分)計測1本約40秒、フロント、右サイド復習、左バックサイド～ネープ導入
12	ワインディング	ブロック(コーム、9ブロック)計測4～3分、(センター計測9分～10分)計測1本約35秒 フロント、右サイド復習、左バックサイド～ネープ復習、サイド導入
13	ワインディング	ブロック(コーム、9ブロック)計測4～3分、(センター計測9分～10分)計測1本約35秒全頭復習、左サイド復習、強化
14	ワインディング 総まとめ	ワインディング総まとめを実施する 計測ブロック(コーム、9ブロック)4～3分 全頭巻き35分
15	総合授業	前期振り返り